

第六十五回

日本伝統工芸展



第65回 日本伝統工芸展会期

開催地	会 期	会 場
東 京	2018.09.19 ～ 2018.10.01	日 本 橋 三 越 本 店
名 古 屋	2018.10.03 ～ 2018.10.08	名 古 屋 栄 三 越
京 都	2018.10.17 ～ 2018.10.22	京 都 高 島 屋
金 沢	2018.10.26 ～ 2018.11.04	石 川 県 立 美 術 館
大 阪	2018.11.07 ～ 2018.11.12	大 阪 高 島 屋
岡 山	2018.11.15 ～ 2018.12.02	岡 山 県 立 美 術 館
松 江	2018.12.05 ～ 2018.12.25	島 根 県 立 美 術 館
高 松	2019.01.02 ～ 2019.01.20	香 川 県 立 ミ ュ ー ジ ア ム
仙 台	2019.01.23 ～ 2019.01.29	仙 台 三 越
広 島	2019.02.21 ～ 2019.03.10	広 島 県 立 美 術 館
松 山	2019.03.12 ～ 2019.03.17	松 山 三 越



平成三十年九月十九日(水)から十月一日(月)まで、東京日本橋三越本店七階において第六十五回日本伝統工芸展が開催されました。総出品千四百二点の中から、優秀賞七点、保持者賞一点、奨励賞五点、新人賞三点が選ばれました。

東日本支部でも会員が四名の方が受賞されました。なお、東日本支部のエリアでは、東京会場のほか、翌年一月二十三日(水)から二十九日(火)まで仙台三越において仙台展が開催されます。

四分一象嵌打出銀器



金工 正会員 前田 宏智

今回の受賞に際して、皆様に厚く御礼を申し上げます。

振り返りますと、昭和最後の開催となった昭和六十三年の第三十五回展で初入選させていただき、平成最後の年になる本年平成三十年の第六十五回展で最高賞である日本工芸会総裁賞をいただきました。加えて、第四十一回展から第五十三回展、さらに第六十五回展と十二年ごとに、三十歳台、四十歳台、五十歳台とそれぞれの時に賞を頂戴したことになります。語呂合わせにも似たような数の巡り合わせに面白さを感じています。合わせに面白さを感じています。が、作り手としての自分の道は、日本伝統工芸展とともに歩んで来たのだと感慨深いものがあり、何とも不思議な繋がりだと感じています。

実際のところ、今回の作品制作の途中に、かつて日本工芸会の中で話していただいた言葉が



要所所で耳に響くこともあり、それをなぞらえるように作業を進めていました。あらためて、感謝の気持ちを記したいと思います。

先人から学び受け継ぐ大切さを噛み締めて、伝統の本質を感じて引き出し、縊りをかけて紡ぐように、新しい作品を作り出していきますように精進してまいります。皆様、これからもよろしくお願い申し上げます。

黒柿蘇芳染嵌荘箱「西方の風」



木工 正会員
渡辺 晃 男

何百年何千年と生きてきた木材を素材に箱を創り、そこに象嵌を施す時はいつも木目と象嵌の模様の調和に苦心しています。

今回は、黒柿の素材を眼にした時に風に渡って行く雲をイメージできましたので、そのイメージを大切に膨らませ、箱の姿も十分検討しました。象嵌の部分には、黒柿の黒い部分だけを用いて、文様と黒柿の模様が重ならず象嵌が引き立つようにし、黒柿の雲のように見えた模様だけを強調するように木取りを工夫しました。今回伝統工芸展に於いて高い評価を得られました事は、今後の自信に繋がりました。是を新たなスタートラインと考え、これからも精進してまいります。



花織帯「クリスタル」



染織 正会員
楠 光代

この度はNHK会長賞を頂きまして誠に有難うございました。思い掛け無い出来事に大変驚き、また受賞の重みを感じております。

今回の作品は、クリスタルにさし込んだ柔らかな光がキラキラとした輝きに変わり、その輝きを花織で表現したいとの思いから制作したものです。

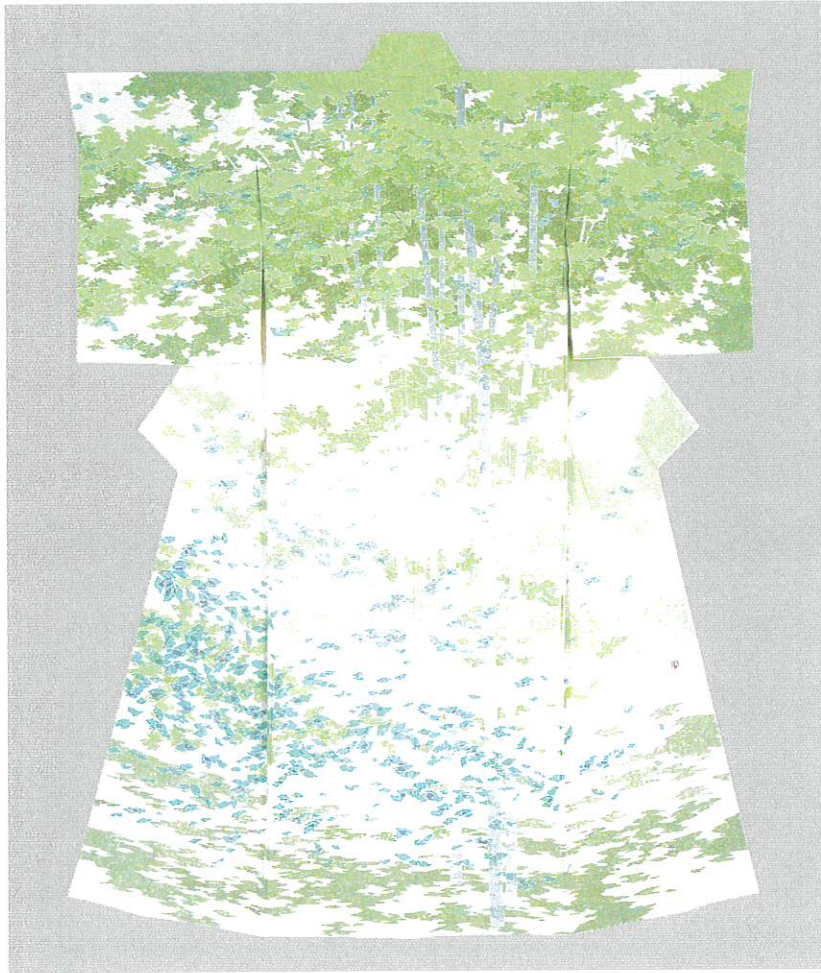
経糸の青を濃淡5段階に染めてグラデーションをつけ、それによりクリスタルの奥行と透明感を表現しました。そしてその上に光沢のある生糸で花織を織り込むことにより、キラキラと輝く光を帯の中にちりばめてみました。

花織に魅了され、自分の思い描いたものを花織で表現したいと思いつき、試行錯誤を重ねて十五年ほどになります。まだまだ未熟ではありますが、今回このような栄誉ある賞を頂いたこ



とはこれからの作品作りをしていく上で大変大きな励みとなりました。これからもより一層努力してまいりたいと思います。本当に有難うございました。

友禅訪問着 「雨上がり」



染織 準会員
菅原 高幸

この度は素晴らしい賞を戴き誠にありがとうございます。ご指導下さった先生方に心から御礼申し上げます。

私が常に描きたい表現したいと考えているのは漂う空気とか時間の流れのような漠然としたものです。

今回の作品についても、爽やかにふわっと薫るにおいのようなものが描いてみたく制作したのですが、何度も試行錯誤を重ねてようやく形にすることが出来ました。

まだまだ至らない部分を自覚しておりますが、評価して頂いたことは無類の喜びで飛び上がりたい程です。実際に何度も飛び跳ねました。

これを励みにこれからも技術の研鑽を積み、表現の幅を拡大していきたいと思えます。



管理委員会報告

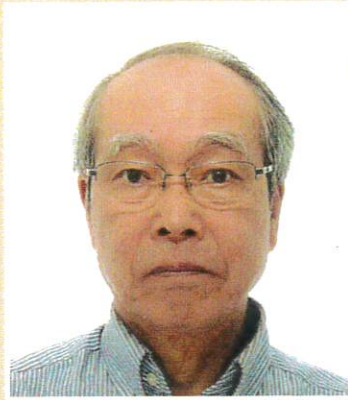
[平成30年度日本工芸会正会員認定者]



(陶芸) 東 香織



(染織) 楠 光代



(染織) 遠峰 聖明



(漆芸) 町田 俊一



(金工) 石田 温



(金工) 鈴木 頼彦



(木竹工) 鈴木 敬康



(人形) 福井 道子



(諸工芸) 河野 すゝむ

。。。おめでとうございます。。。

日本工芸会部会展

部 会	展覧会名	会 期	東日本支部在籍受賞者
陶 芸 部 会	第46回陶芸部会展	2018年4月25日～2018年5月1日 日本橋三越本店	日本工芸会賞 寺本 守 日本工芸会賞 望月 集
染 織 部 会	第52回 日本伝統工芸染織展	2018年5月9日～2018年5月14日 日本橋三越本店	東京都教育委員会賞 岩井香楠子 京都新聞賞 大高美由紀 三越伊勢丹賞 小宮康義
		2018年5月23日～2018年5月28日 大丸京都店	
		2018年5月30日～2018年6月3日 岡山天満屋	
		2018年6月6日～2018年6月11日 岩田屋本店	
漆 芸 部 会	第35回 日本伝統漆芸展	2018年1月10日～2018年1月23日 西武池袋本店	文部科学大臣賞 藤田正堂 奨励賞 高松市美術館賞 神垣夏子
		2018年1月27日～2018年2月19日 石川県輪島漆芸美術館	
		2018年3月7日～2018年3月25日 高松市美術館	
		2018年4月10日～2018年4月16日 そごう広島店	
漆 芸 部 会	第36回 日本伝統漆芸展	2019年1月8日～2019年1月22日 西武池袋本店	東京都教育委員会賞 奥窪聖美 奨励賞 熊本県伝統工芸館賞 須藤靖典
		2019年2月2日～2019年2月25日 石川県輪島漆芸美術館	
		2019年3月16日～2019年3月31日 高松市美術館	
		2019年4月9日～2019年4月15日 そごう広島店	
		2019年4月23日～2019年6月2日 熊本県伝統工芸館	
金 工 部 会	第47回 伝統工芸日本金工展	2018年4月28日～2018年6月17日 石洞美術館	文部科学大臣賞 江田 蕙 東京都教育委員会賞 萩野紀子 宗桂会賞 中村大朋 熊本県伝統工芸館賞 岡原有子 足立区長奨励賞 石田 温
		2018年7月3日～2018年9月24日 熊本県伝統工芸館	
人 形 部 会	第29回 伝統工芸人形展	2018年5月29日～2018年5月7日 日本橋三越本店本館6階 美術特選画廊	文部科学大臣賞 平井順子